

家族で学ぶSDGs みんなで学ぶSDGs ～今日から止めるぞ！温暖化～

【団体名】エスディーシーズを広める会

【担当部署】総務部 政策課

【提案型】自由テーマ

1. 事業の目的

SDGs全般に加え、気候変動がもたらす未来予測と原因を学び、市民ができる対策を多世代で語ることで、市民の意識啓発と行動変容につなげることを目的とする。

2. 実施内容

家族で学ぶ・みんなで学ぶSDGs講座の開催

日時：(1日目) 令和7年8月2日(土) 13:25～
(2日目) 令和7年8月17日(日) 13:25～

会場：(1日目) 文化ホールくるる
(2日目) 中央公民館 集会室

参加者数：延べ100名

概要：(1日目) 関係機関の講師によるSDGsや環境問題に関する講義
SDGsについて少人数の班に分かれ意見交換 などを実施
(2日目) オリジナルSDGsバッジの作成
蕨市在住お笑い芸人によるSDGs漫才
ワークショップで実施したことの発表 などを実施

▼会場の様子(1日目)



▼会場の様子（2日目）



3. 役割分担

団体：事業の実施全般に関すること

市：広報全般、チラシの校閲、行政施設の予約に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 86,762円（うち蕨市SDGs推進事業補助金 86,762円）

(2) 支出の主な内容

講師謝礼、印刷製本費（チラシ作成）、使用料（会場借り上げ料）等

5. 協働による効果

- ・市民団体単独では難しい小中学校へ周知を行ったことで、大人だけでなく子どもたちも多く参加し、ワークショップを通じた多世代での交流の機会を実現できた。
- ・分かりやすい講座や、ワークショップを通じて、SDGsを身近なものとして捉え、ひとりひとりが自分の行動を見つめ直すきっかけとなり、SDGsへの意識啓発と行動変容につながった。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

意見交換では多数の前向きな声が聞こえた。当イベントをきっかけに、児童からはクラスでSDGs係を作った、高齢者の方からは既存の窓に二重窓を追加できることを知らなかったので工務店に相談したなどの声もあった。課題としては、小中学校での全家庭へのチラシ配布・全町会での回覧を実施したが反応が薄く、会員のつながりでの参加者も多かった。事業内容・申込方法の工夫などが必要だと感じている。

【担当課より】

- ・市内全町会に町会回覧を行うとともに、小中学生に連絡アプリを活用した広報活動を行い、参加者が延べ100人に達するなど、2日間とも成功した。
- ・分かりやすい講座やワークショップを通じて、市民のSDGsへの意識啓発に効果があった。